

(14) 児童館等

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、児童館等として2施設を設置しています。児童館等は利用者や地域住民と連携し、地域児童の健全な育成を目的とする施設です。

表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 児童館	府中五丁目7番33号	165.00	昭和38	S造	
2 児童センター	旭台三丁目9番21号	418.00	昭和55	RC造	
合計		583.00			

② 事業内容

夏祭り・クリスマス会等の各種イベントや習字教室などを通し、地域児童の保護育成を図っています。幼児から大人まで《3世代交流》の場として、利用できる施設で、さまざまな行事を行っています。

<各種イベント・クラブ活動の例>

- 児童館：夏休みの集い、児童館まつり、クリスマス会、習字教室、スポーツ遊び、こどもの国、なかよしルーム、親子教室
- 児童センター：夏休みの集い、映画会、児童センターまつり、クリスマス会、習字教室、スポーツクラブ、こどもの国、にこにこ広場、ちびっこ広場

③ 開館時間等（平成26年度）

名称	開館時間	休館日	開館日数
児童館	平日：午前9時から午後5時まで 土曜：午前10時から午後4時まで	日祝・年末年始	293日
児童センター	平日：午前9時から午後5時まで 土曜：午前10時から午後4時まで	日祝・年末年始	293日

④ 利用方法及び使用料

- ・各施設ともに自由に来館ができ、基本的に利用料は無料
- ・各種クラブ活動は登録が必要で、必要に応じて実費徴収がある
- ・習字教室は利用料が1か月600円

⑤ 配置状況

図 児童館等位置図

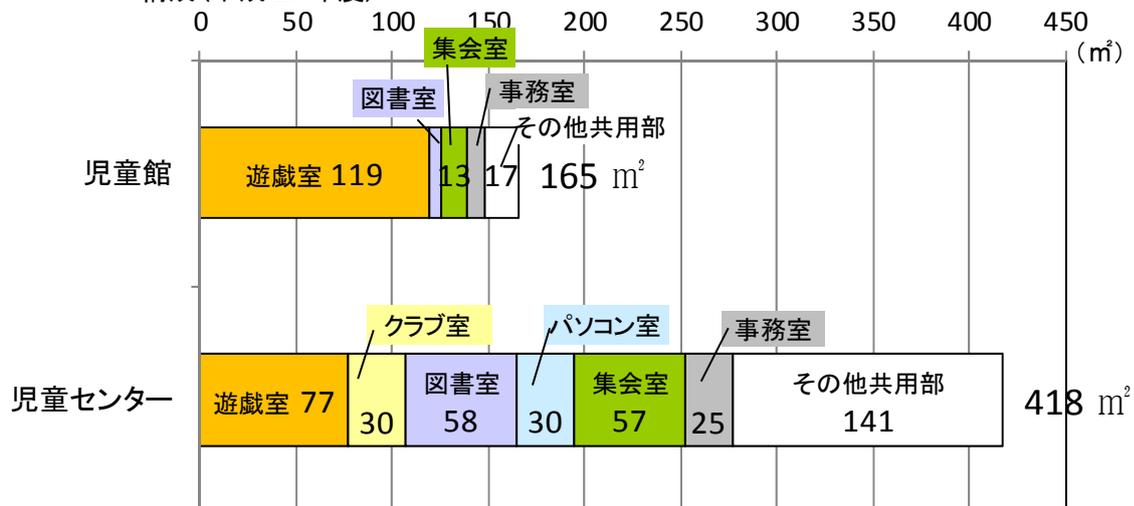


⑥ スペース構成

児童館等の延床面積は、児童センターが 418 m²、児童館が 165 m²となっています。

児童館等は、遊戯室を中心に、図書室、集会室等を設置しています。児童センターでは、クラブ室やパソコン室も備えています。

図 スペース構成(平成 26 年度)



2) 実態把握

① 建物状況

■ 児童館等の建物総合評価結果

平成26年度の児童館等2施設の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応					⑤環境対応	⑥維持管理 床面積当たり (円/㎡)				
		建築年度	延床面積(㎡)	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問題回答評価	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費
1	児童館	昭和38	165	未実施	52	-	52	×	×	×	×	×	×	×	×	×	952	1,679	1,806
2	児童センター	昭和55	418	未実施	35	-	35	△	×	×	×	×	×	×	×	×	584	7,816	69

記載例	③	○:劣化がみられないもの △:一部に劣化がみられるもの・不明 ×:屋根・外壁等の重要部位に劣化がみられるもの
	④ ⑤	○:実施済 △:一部実施・不明 ×:未実施

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
 ※①の「不要」には、耐震診断の結果耐震補強が不要な施設と、新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。

児童館及び児童センターは耐震安全性が確保されておらず、早急に耐震安全性を確保する対策が必要です。また、いずれも築後30年以上経過しており、特に児童館は築50年を超える施設です。老朽化が進行していることが予想され、劣化調査でも重要部位の劣化報告があり、修繕費が割高になっているなど、耐震化とともに老朽化対策も必要です。また、対策実施の際には、バリアフリー化も望まれます。

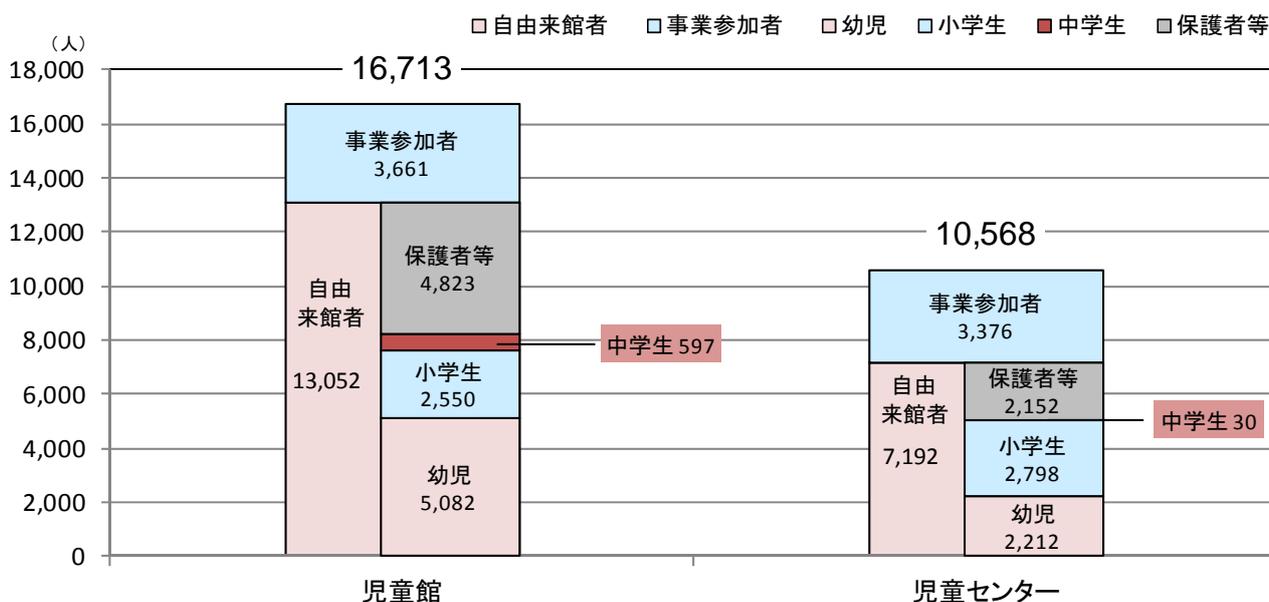
評価	<p>パターンI 耐震性 老朽化</p> <p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p>							
	<p>該当施設</p> <table border="0"> <tr> <td>児童館</td> <td>建築年度</td> </tr> <tr> <td>昭和38</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童センター</td> <td>建築年度</td> </tr> <tr> <td>昭和55</td> <td></td> </tr> </table> <p>< 2 施設 ></p>	児童館	建築年度	昭和38		児童センター	建築年度	昭和55
児童館	建築年度							
昭和38								
児童センター	建築年度							
昭和55								
コメント	<p>・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。</p>							

② 利用状況

■ 施設別年齢別利用状況

施設別利用状況をみると、児童館は1万6,713人、児童センターは1万568人となっています。全体の7割前後が自由来館者で、事業参加者が3割程度となっています。施設別に自由来館者の利用者分類をみると、児童館は幼児の利用が最も多く、全体の3割程度となっています。また、保護者等の利用も幼児に近い人数となっています。同伴した保護者の利用があるものと思われま。児童センターは小学生が最も多くなっています。

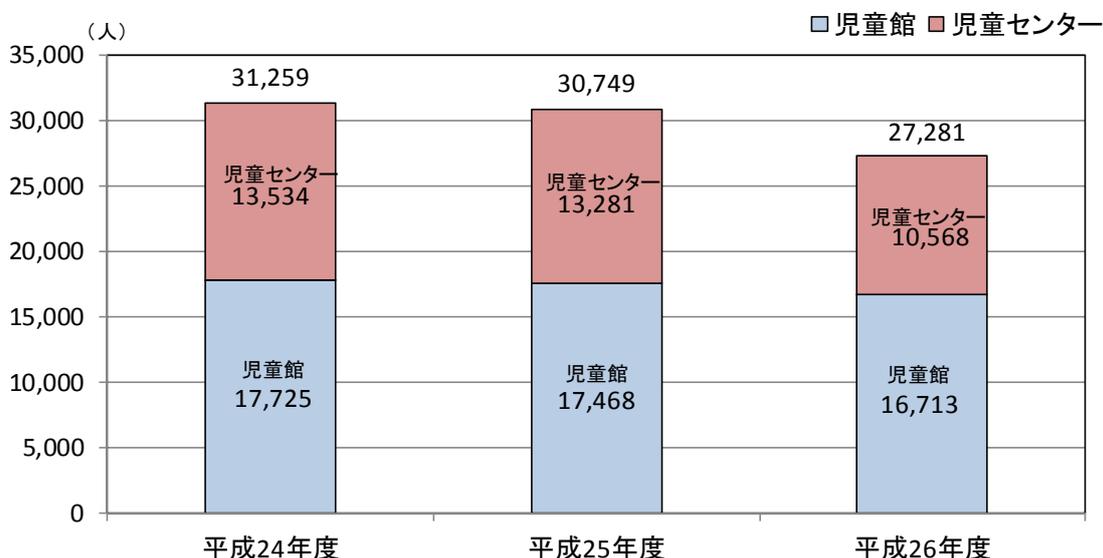
図 利用者分類別利用状況（平成26年度）



■ 利用推移

全施設の利用者総数は、平成24年度の3万1,259人から平成26年度の2万7,281人へと、減少傾向にあります。これは児童館、児童センターとも同様の傾向となっています。

図 年間利用者数の推移



③ 運営状況

■ 運営人員

児童館，児童センターとも，市の直営で運営しています。2施設とも施設維持管理に0.5人，事務・庶務に0.5人，館内サービスに2人，主催事業に関する業務に1人従事しており，事業運営が合計で3.5人，施設全体で4人となっています。

表 運営人員（平成26年度）

(人)

		児童館	児童センター	合計
管理運営形態		直営	直営	
施設維持管理	一般職員	0.5	0.5	1.0
計		0.5	0.5	1.0
事業運営	事務・庶務	一般職員	0.5	1.0
	館内サービス	嘱託員	2.0	4.0
	主催事業	嘱託員	1.0	2.0
計		3.5	3.5	7.0
合計	一般職員	1.0	1.0	2.0
	嘱託員	3.0	3.0	6.0
		4.0	4.0	8.0

■ 運営体制

児童館，児童センターの運営体制は，一般職員1人，嘱託員3人の合計4人体制となっています。

表 運営体制（平成26年度）

		8:30	12:00	17:30
児童館	平日(月～金) 運営体制 4人	8:30 一般職員(月～金) 1人 17:15		
	土曜日 運営体制 1人	8:30 嘱託員(月～金) 1人 12:30 10:00 嘱託員(月～金) 1人 14:00 嘱託職員は出張・行事等で時間変更 嘱託員(月～金)1人 17:15 10:00 嘱託員(土) 1人 16:00		
児童センター	平日(月～金) 運営体制 4人	8:30 一般職員(月～金) 1人 17:15		
	土曜日 運営体制 1人	8:30 嘱託員(月～金) 1人 12:30 10:15 嘱職員(月～金) 1人 17:15 10:00 嘱託員(月～金) 1人 17:00 10:00 嘱託員(土) 1人 16:00		

④ コスト状況

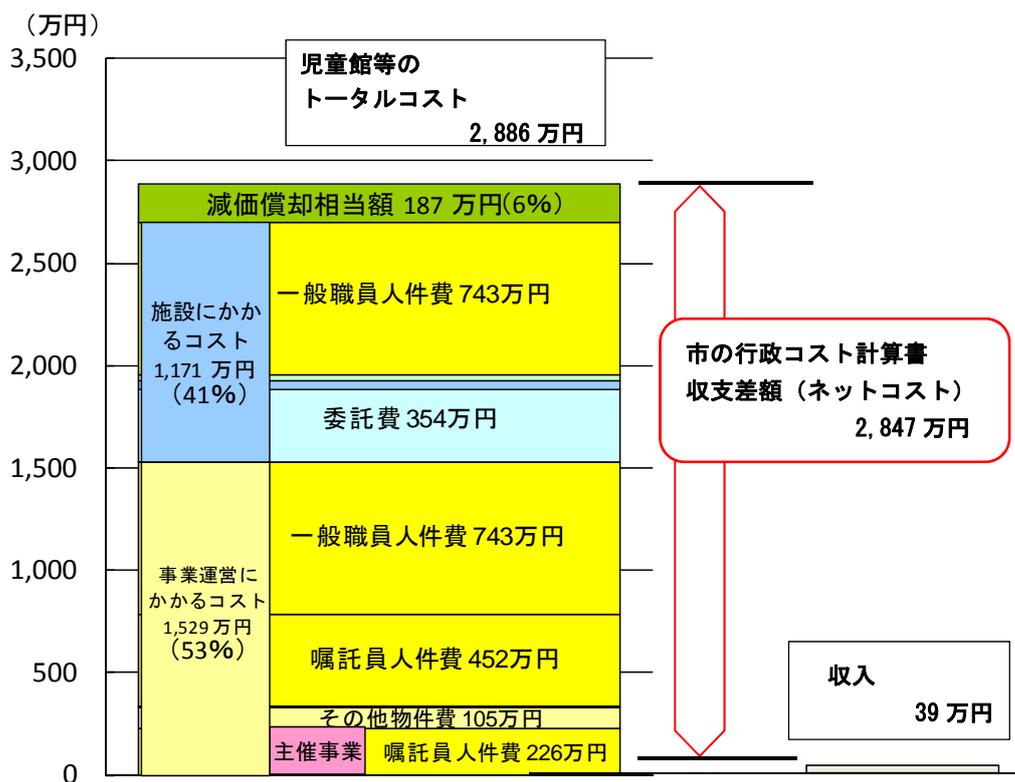
児童館等2施設の年間トータルコストは、2,886万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは1,171万円(41%)、事業運営にかかるコストは1,529万円(53%)、減価償却相当額が187万円となっています。また、人件費のトータルは、全体の75%を占めています。

表 施設別 市の行政コスト計算書(平成26年度) (千円)

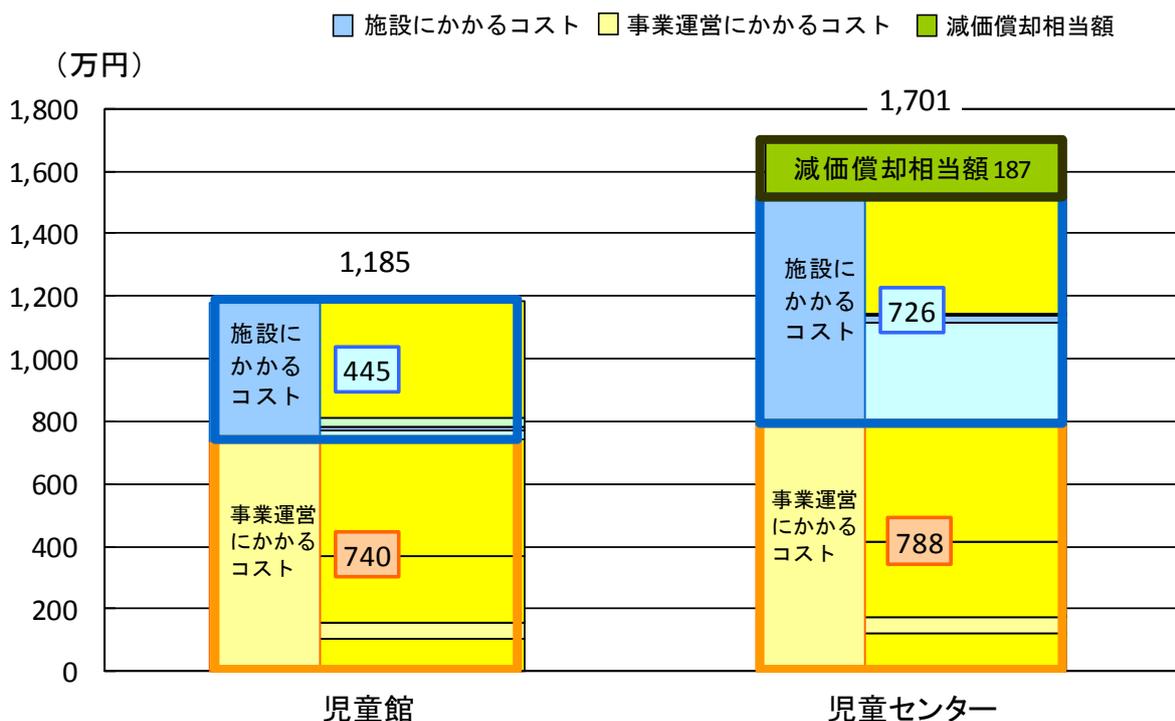
I.現金収支を伴うもの【コストの部】		児童館	児童センター	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	3,717	3,717	7,434
	修繕費	298	29	327
	光熱水費	157	244	401
	委託費	277	3,267	3,544
	施設にかかるコスト	4,449	7,257	11,706
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	3,717	3,717	7,434
	嘱託員人件費	2,101	2,420	4,521
	負担金補助及び交付金	13	13	26
	その他物件費	521	526	1,047
	事業運営	6,352	6,676	13,028
	嘱託員人件費	1,050	1,210	2,260
	主催事業	1,050	1,210	2,260
	事業運営にかかるコスト	7,402	7,886	15,288
現金収支を伴うコスト 計		11,851	15,143	26,994
【収入の部】				
収入	分担金及び負担金(収入)	186	203	389
収入の合計		186	203	389
II.現金収支を伴わないもの				
コスト	減価償却相当額	0	1,869	1,869
III.総括				
コストの部合計(トータルコスト)		11,851	17,012	28,863
収支差額(ネットコスト)		11,665	16,809	28,474

図 全施設トータルコスト（平成 26 年度）



施設別トータルコストは、児童センターの 1,701 万円から児童館の 1,185 万円となっています。

図 施設別トータルコスト（平成 26 年度）

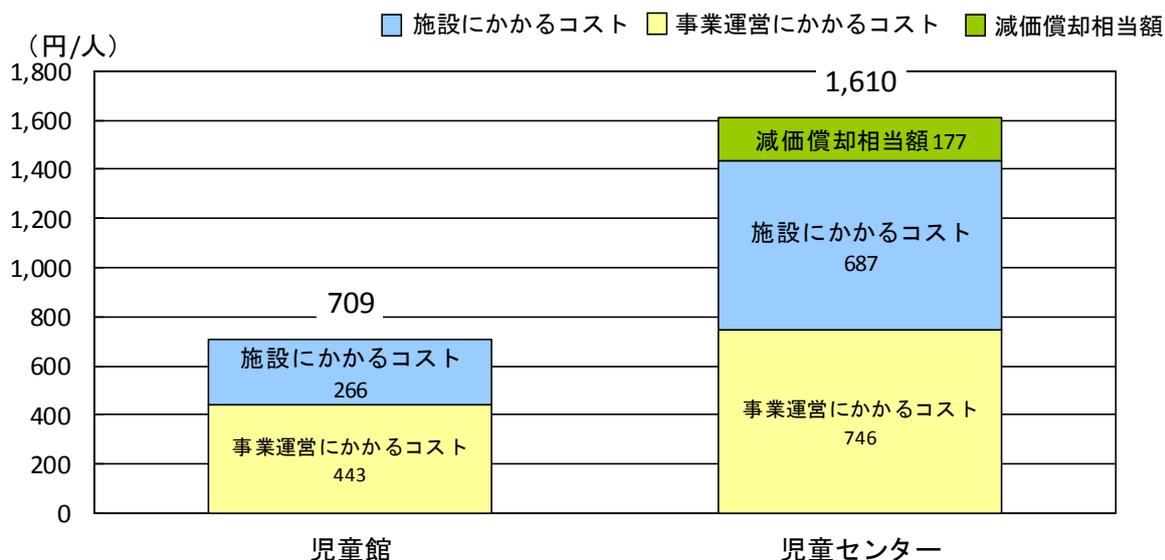


3) 評価・分析

■ 利用者1人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、児童館が709円/人、児童センターが1,610円/人となっています。

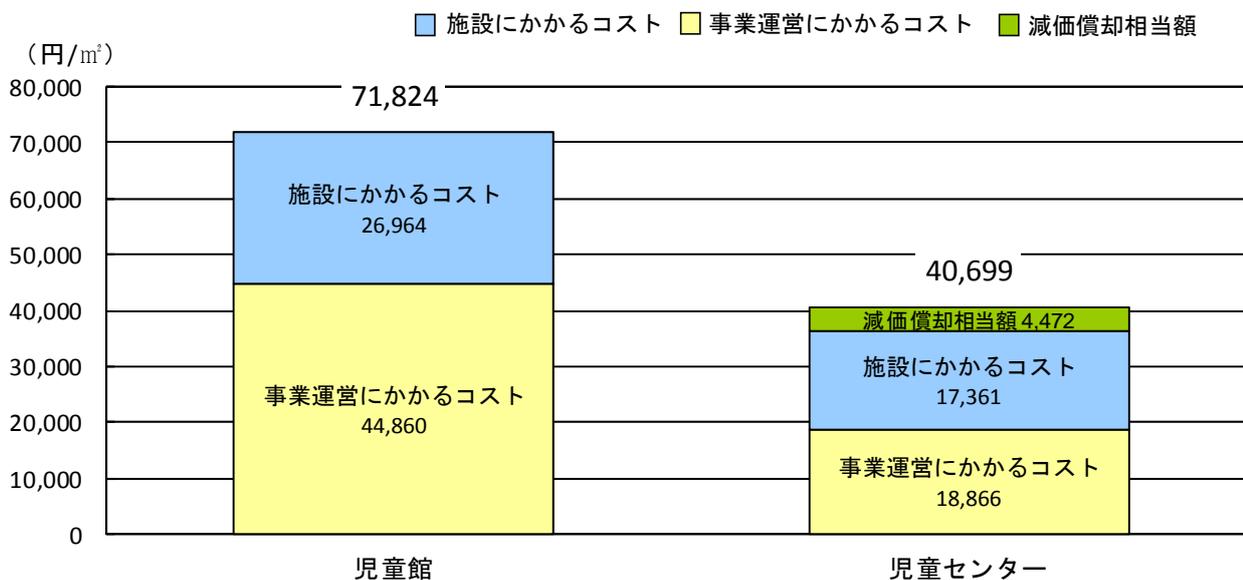
図 施設別 利用者1人当たりにかかるコスト（平成26年度）



■ 床面積1㎡当たりにかかるコスト

床面積とトータルコストから床面積1㎡当たりにかかるコストを算出すると、児童館が7万1,824円/㎡、児童センターが4万6,999円/㎡となっています。

図 施設別 床面積1㎡当たりにかかるコスト（平成26年度）



4) 今後の検討の視点

■ 施設に関する視点

- いずれの施設も耐震化，老朽化ともに早急な対策が必要です。
- 児童館は築年も古く，老朽化が進行しています。代替施設も視野に入れた検討が必要と思われます。

■ 利用に関する視点

- 児童センターは規模が大きい割に利用者が少なく，利用者数当たりのコストも割高になっています。
- 人件費が全体の7割を超えています。部分的に直営以外の運営方式の導入検討等も必要と思われます。